



大豆生田 春美 議員

「赤ちゃんの駅」
設置について

「赤ちゃんの駅」は、乳幼児を育てる父母らが外出時に授乳ができる場所やおむつ替えをする場所を自治体が認定し、その周知に努めることで、子育て

質問(大豆生田春美 議員)
移動式「赤ちゃんの駅」用の簡易テントを購入し、イベント等の際に使用したり、貸し出しをしていく考えがあるか伺います。

家庭の外出を支援するものがあります。
現在、公共施設や市関係施設では、施設内におむつ交換台が設置されている場所もあります。しかし、各種イベント会場でおむつ交換台が設置された施設がない場合、保護者の方は不便に感じる場合もあると思われまます。イベント会場に、折り畳み式おむつ交換台や授乳スペースを確保した移動可

能なテントを赤ちゃんの駅として設置すれば、心配なく参加できるものと考えています。
安心して外出できる環境を整備することは、子育てを支援する上で有効であると認識していますので、導入については、他の状況等を参考に効果的な活用について研究を進めていきます。



星 雅人 議員

警報・注意報等発表時の
市の対応について

質問(星雅人 議員)
市民への災害情報の発信を自動で行うシステムを導入してはどうかと考えるが、市の考えを伺います。
答弁(総合政策部長)
現在の災害情報の発信状況については、大雨警報等の気象情報、土砂災害警戒情報、震度4以上の地震情報、ダム放流等の河川情報を発信しています。

これらの情報は警報等が発表されたときに、その都度手入力し、安全安心メールの登録者に発信しています。
現行の安全安心メールシステムについては、現在進めている市のイベント情報なども配信でき、市役所内のすべての部課等で使える新たなメール配信システムに移行することになります。

新システムにおいては、気象注意報及び警報、震度4以上の地震、竜巻等の発表と連動して受信希望者に自動発信するシステムを構築中であり、平成28年2月頃から運用を開始する予定です。